

表2-1. 平成19年3月1日から8月31日生まれの子ども

男の子 (n=7,421)

	新生児		3～4か月				6～10か月				1歳6か月			3歳～3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	4947	6767	5998	5990	5998	4676	5262	5241	5258	3551	6276	6264	6274	6712	6700	6708
平均値	49.1	3047.8	3.8	63.6	7152.6	41.7	9.4	71.5	8963.1	45.4	19.1	81.3	10.9	41.8	96.4	14.7
標準偏差	2.4	443.3	0.6	2.6	866.6	1.3	1.8	3.0	1017.0	1.5	1.4	2.9	1.1	1.8	3.6	1.7
最大値	64.0	6450.0	9.0	74.0	10900.0	61.0	17.0	82.0	14650.0	51.9	35.0	99.0	17.4	51.0	109.1	26.9
中央値	49.1	3058.0	4.0	63.7	7130.0	41.7	10.0	71.7	8930.0	45.5	19.0	81.2	10.9	42.0	96.3	14.6
最小値	32.0	766.0	2.0	37.5	951.0	26.4	4.0	53.8	3798.0	39.0	12.0	59.1	7.0	36.0	82.0	9.1
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

女の子 (n=7,044)

	新生児		3～4か月				6～10か月				1歳6か月			3歳～3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	4729	6444	5704	5689	5699	4463	5063	5049	5059	3485	5981	5970	5977	6369	6359	6365
平均値	48.7	2991.3	3.8	62.2	6647.5	40.7	9.4	70.0	8441.4	44.3	19.0	80.0	10.4	41.8	95.4	14.3
標準偏差	2.3	415.8	0.6	2.4	773.7	1.3	1.7	3.0	956.5	1.4	1.3	2.8	1.1	1.7	3.5	1.7
最大値	59.0	4716.0	8.0	74.2	9450.0	61.8	14.0	86.4	13305.0	49.5	35.0	94.7	27.2	53.0	111.9	27.6
中央値	49.0	3000.0	4.0	62.3	6620.0	40.6	10.0	70.2	8400.0	44.3	19.0	80.0	10.3	42.0	95.3	14.2
最小値	28.5	496.0	2.0	47.9	2620.0	36.0	4.0	50.5	9.2	39.3	12.0	64.1	5.2	37.0	77.7	7.2
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

表2-2. 平成21年3月1日から8月31日生まれの子ども

男の子 (n=8,120)

	新生児		3~4か月				6~10か月				1歳6か月			3歳~3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	5413	7323	6799	6739	6740	5443	6074	6056	6074	4396	6807	6798	6804	6807	6803	6806
平均値	49.2	3057.2	3.8	63.7	7154.5	41.7	9.6	71.6	8954.6	45.5	19.0	81.2	10.9	41.6	96.2	14.7
標準偏差	2.2	435.2	0.6	2.5	839.1	1.3	1.6	2.9	990.8	1.4	1.1	2.8	1.1	1.8	3.7	1.7
最大値	57.0	4940.0	10.0	79.2	10860.0	49.3	17.0	82.0	14280.0	52.5	32.0	95.5	17.9	55.0	115.0	28.1
中央値	49.5	3070.0	4.0	63.8	7120.0	41.8	10.0	71.8	8925.0	45.5	19.0	81.2	10.8	42.0	96.1	14.5
最小値	29.2	435.0	1.0	42.0	2220.0	30.9	5.0	55.0	9.0	39.2	13.0	67.6	6.0	36.0	13.9	7.6
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

女の子 (n=7,888)

	新生児		3~4か月				6~10か月				1歳6か月			3歳~3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	5273	7132	6599	6547	6556	5329	5941	5925	5940	4343	6728	6723	6728	6661	6653	6661
平均値	48.6	2971.6	3.8	62.2	6651.8	40.7	9.6	70.1	8442.4	44.4	19.1	79.9	10.3	41.6	95.2	14.3
標準偏差	2.3	420.9	0.6	2.4	785.6	5.5	1.6	2.9	942.0	1.4	1.2	2.8	1.1	1.8	3.6	1.7
最大値	57.0	4516.0	7.0	71.2	10495.0	430.0	15.0	80.3	13270.0	51.0	31.0	94.3	18.0	52.0	110.0	29.2
中央値	49.0	2976.0	4.0	62.2	6620.0	40.7	10.0	70.2	8400.0	44.5	19.0	80.0	10.2	42.0	95.2	14.1
最小値	27.0	468.0	1.0	41.0	2276.0	28.5	4.0	56.4	4540.0	35.7	13.0	61.0	6.0	35.0	65.3	8.3
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

表2-3. 平成22年6月1日から平成23年4月30日生まれの子ども

男の子 (n=14,173)

	新生児		3~4か月				6~10か月				1歳6か月			3歳~3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	9482	13016	11294	11270	11288	9112	9658	9645	9654	7115	11792	11785	11790	10189	10176	10184
平均値	49.1	3054.3	3.9	63.6	7131.7	41.8	9.3	71.4	8911.8	45.4	19.1	81.2	10.8	41.5	96.0	14.6
標準偏差	2.4	429.3	0.6	2.5	839.0	1.4	1.6	2.9	989.6	1.5	1.0	2.9	1.1	1.8	3.6	1.6
最大値	64.0	4567.0	9.0	75.2	11310.0	71.0	16.0	83.0	14595.0	56.0	30.0	96.5	19.5	50.0	111.3	29.8
中央値	49.5	3070.0	4.0	63.7	7100.0	41.9	10.0	71.5	8880.0	45.5	19.0	81.2	10.8	42.0	96.0	14.5
最小値	29.0	407.0	2.0	45.5	2930.0	32.7	4.0	47.5	4130.0	36.0	16.0	52.0	4.5	28.0	53.7	6.8
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

女の子 (n=13,634)

	新生児		3~4か月				6~10か月				1歳6か月			3歳~3歳6か月		
	出生時 身長	出生時 体重	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	頭囲	月齢	身長	体重	月齢	身長	体重
例数	9136	12561	10961	10926	10951	8744	9237	9219	9237	6693	11332	11317	11331	9713	9701	9711
平均値	48.6	2966.1	3.9	62.1	6626.1	40.7	9.4	70.0	8378.8	44.3	19.1	79.9	10.3	41.5	95.1	14.3
標準偏差	2.4	422.3	0.6	2.4	786.4	1.3	1.6	2.9	950.4	1.4	0.9	2.8	1.1	1.7	3.6	1.6
最大値	55.0	5800.0	9.0	70.8	10300.0	62.8	15.0	80.8	13050.0	52.7	31.0	93.0	17.8	48.0	113.5	26.9
中央値	49.0	2978.0	4.0	62.2	6590.0	40.8	10.0	70.1	8330.0	44.3	19.0	80.0	10.2	42.0	95.0	14.1
最小値	23.2	408.0	1.0	37.0	1092.0	28.5	4.0	54.4	1070.0	36.5	16.0	51.5	6.3	27.0	73.5	8.0
	(cm)	(g)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(g)	(cm)		(cm)	(kg)		(cm)	(kg)

表3. 保育所調査(基礎特性)

	平成16年度生まれの子ども (n=52,560)		平成18年度生まれの子ども (n=67,642)	
	n	%	n	%
性別				
男の子	27,443	52.2%	35,101	51.9%
女の子	25,117	47.8%	32,541	48.1%
出生年・月				
4月	4,499	8.6%	5,596	8.3%
5月	4,503	8.6%	5,907	8.7%
6月	4,345	8.6%	5,668	8.4%
7月	4,692	8.9%	5,927	8.8%
8月	4,629	8.9%	5,876	8.7%
9月	4,617	8.9%	5,960	8.8%
10月	4,350	8.3%	5,634	8.3%
11月	4,231	8.0%	5,574	8.2%
12月	4,302	8.2%	5,608	8.3%
1月	4,416	8.4%	5,596	8.3%
2月	3,718	7.1%	4,735	7.0%
3月	4,151	7.9%	5,453	8.1%
4月1日(翌年)	107	0.2%	108	0.2%
医師に診断された疾患の有無				
ない	43,509	82.8%	57,389	84.8%
ある	5,944	11.3%	7,704	11.4%
不明	286	0.5%	334	0.5%
疾患名(複数回答)				
腎臓病	24		41	
心臓病	196		272	
アトピー	1,910		2,249	
喘息	1,542		2,187	
その他	3,010		3,855	
被災の状況と体験の有無				
被災しない	---		61,079	90.3%
被災した			985	1.5%
被災体験(複数回答)				
全壊・半壊			359	
津波			220	
火災			3	
転居			182	
避難所生活			276	
家族の死亡			30	

平成26年8月1日

〇〇〇市母子保健担当者 殿

厚生労働科学研究費補助金(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

被災地の子どもの発育状況等に関する研究 継続調査へのご協力をお願い

暑さ厳しき折、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、厚生労働省の指定科学研究として、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北3県の小児医療中核施設である東北大学小児科、岩手医科大学小児科、そして福島県立医科大学小児科が一致協力して、被災地の子どもたちの発育状況を把握し、被災による影響を明らかにすると共に、今後の被災地の小児保健向上に寄与する目的で始められた表題研究も3年目を迎えることとなりました。

昨年度は、〇〇〇市を含め、宮城県内の17市町村よりご協力をいただき、2,645名分のデータを収集し、また、被災地3県（岩手県、宮城県、福島県）では、77自治体からご協力をいただき、13,504名分のデータを収集することができました。厚く御礼申し上げます。

本年度の調査は、9月から実施する予定でございます。つきましては、ご担当者のお名前、対象者数、希望する調査方法を、8月15日（金）までにFAXでご連絡いただきますようお願いいたします。追って詳細をご連絡させていただきます。お忙しいところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

東北大学医学部小児科
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究事務局
担当：田中総一郎
〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1-1
Tel 022-717-7285
Fax 022-717-7290
HP <http://www.ped.med.tohoku.ac.jp/311childhealth>

平成26年度 調査概要

本調査は、対象者への新たな調査は行わず、3歳児健診を終えた子どもの乳幼児健康診査票のデータの提供のみをお願いしております。また、個人情報除去した既存資料のみを用いる研究のために、個人の同意を得ることを必要としないことを東北大学医学部の倫理委員会にて確認し、研究の承認を得ております。

【調査対象】

平成22年6月1日から平成23年4月30日生まれの子ども

【調査項目】 別添の調査票の見本をご参照ください。

＜出生時＞

性別、生年月日、在胎週数、出生時身長、出生時体重

＜乳幼児健診① 3～4ヶ月健診＞

健診日、身長、体重、頭囲、栄養（母乳・混合・人工）

＜乳幼児健診② 6～10ヶ月健診＞

健診日、身長、体重、頭囲、栄養（母乳・混合・人工）

＜1歳6ヶ月児健診＞

健診日、身長、体重

＜3歳児もしくは3歳6ヶ月児健診＞

健診日、身長、体重

※ただし、6月末時点で3歳（6ヶ月）児健診が終了していない場合には、出生時から1歳6ヶ月児健診のデータまでで結構です。

【調査方法】

次のいずれかをご選択ください。

- ① 東北大学から業務委託されたものが、〇〇市へ赴き、健診票から調査項目を転記する（※委託事業者は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークを取得しており、個人情報の適切な取り扱いが行われております。）
- ② 〇〇市で、データ入力された電子媒体を、研究班に送付していただく。既存のデータを調査票のフォーマットに合わせる必要はございません。

FAX 番号： 022-717-7290

FAX

送付枚数 1枚（本票を含めて）

東日本大震災被災地の子どもの発育状況等に関する調査研究

に関して以下のとおり回答します。

市町村名	
住所及び担当部署名称、〒	
電話： - -	
担当者お名前	
担当者メールアドレス	
調査対象人数の概算	約 人
希望する調査方法 (いずれかを選択し チェックをつけて下さい)	<input type="checkbox"/> 東北大学から業務委託された者が市町村保健センターへ赴き、健診表から調査項目を転記
	<input type="checkbox"/> 市町村で、データ入力されたものを研究班に送付

東北大学医学部小児科

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究事務局

担当：田中総一郎

お問い合わせ Tel022-717-7285

保護者の皆様

厚生労働科学研究費補助金（生育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班

研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫

仙台市子供未来局長 板橋 秀樹

被災地の子どもの発育状況等に関する研究調査へのご協力をお願い

時下、益々ご清祥のことと存じます。

さて、東日本大震災をきっかけとして、災害が母子の心身の健康に及ぼす影響や、災害時における母子保健システム機能の確保のあり方について関心が高まっております。

東北大学小児科におきましては、被災地の小児医療中核施設として、このような社会要請に積極的に応える義務があるものと考え、「東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班」を組織し、子どもたちの発育と震災時の小児医療機関の課題把握に焦点を当てた調査研究を実施しているところです。

仙台市といたしましても、この調査研究によって、災害時における母子保健のあり方や事業継続のための課題把握が進み、小児保健の分野における災害対策の検討が進展することになるものと捕らえており、可能な限りの協力をしたいと考えております。

この調査研究は、住民の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。つきましては、災害における子どもの保健の向上を図るという調査の目的にご賛同いただける場合は、別紙アンケート票について、ご記入いただき3歳児健康診査当日にご持参くださいますようお願い申し上げます。

なおこの調査は平成26年度3歳児健康診査（平成26年4月～平成27年3月まで）を対象としております。

調査に関するお問い合わせ

東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究事務局

担当：田中 総一郎

電話 022-717-7285

Fax 022-717-7290

【 アンケート票 】

※アンケートご記入日 平成 年 月 日

母子健康手帳をご覧ください、保護者の方がご記入をお願いいたします。

1 基礎情報

- ① 生年月 (平成 年 月生まれ)
- ② 性別 (男 ・ 女)
- ③ 出生週数 (週)
- ④ 出生時身長 (cm)
- ⑤ 出生時体重 (g)

2 乳児健康診査

(1) 4～5か月児健康診査

- ① 受診日 (平成 年 月 日)
- ② 身長 (cm)
- ③ 体重 (g)
- ④ 栄養法 (母乳 ・ 混合 ・ 人工)

(2) 8～9か月児健康診査

- ① 受診日 (平成 年 月 日)
- ② 身長 (cm)
- ③ 体重 (g)
- ④ 栄養法 (母乳 ・ 混合 ・ 人工)

3 1歳6か月児健康診査

- ① 受診日 (平成 年 月 日)
- ② 身長 (cm)
- ③ 体重 (kg)

ご協力ありがとうございました。

以下は、3歳児健康診査当日に健診スタッフが記入します。

※健康診査受診日 平成 年 月 日

- ① 身長 (cm)
- ② 体重 (kg)

平成 26 年 4 月 18 日

母子保健担当者殿

岩手医科大学小児科学講座
教授 千田 勝一

「東日本大震災被災地の子どもの発育状況に関する調査研究」へのご協力依頼

春暖の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から 3 年余が経過しましたが、被災された皆様にはまだまだ大変な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

そのような状況の中、昨年度は標題の調査へご協力いただき、誠にありがとうございました。本年度につきましてもぜひご協力を賜りたく、ご連絡をとらせていただきました。

この調査は厚生労働省の指定科学研究として、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北 3 県の小児医療中核施設である岩手医科大学小児科と東北大学小児科、福島県立医科大学小児科が一致協力し、それぞれの県の乳幼児健康診査のデータについて被災地と非被災地のデータを比較することにより、被災による影響を明らかにするとともに、今後の災害時の小児保健の在り方について提言することを目的としたものです。本年度は 3 年計画の 3 年目、最終年度に当たります。ご協力頂いた自治体には、研究終了後に報告書をお送りさせていただきます。今後の小児保健の向上のため、なにとぞご協力いただけますようお願いいたします。自治体担当者の方々にはご負担をおかけしないようにいたします。

調査は昨年度と同様に、岩手医科大学小児科の担当者が各自治体を訪問し乳幼児健康診査票のデータを転記、もしくは、ご担当者さまに規定のエクセルへデータをご入力いただく方法にて、データを収集させていただきます。本年度の対象は現在 3 歳児健診を終えている平成 22 年 6 月～平成 23 年 8 月出生児の乳幼児健康診査票です。個人情報収集いたしません。また、対象者へのさらなる調査等は実施しません。なお、「倫理指針」において、本調査は既存資料のみを用いる観察研究のため、同意を得ることを必ずしも必要としませんが、各担当大学の倫理委員会の承認を得ております。

本調査に関する資料を添付いたします。

ご多忙のところ恐縮ですが、お返事は、同封の返信用紙に記載の上、Fax で平成 26 年 5 月 16 日までにお問い合わせください。

ご不明な点がございましたら [] (担当: []) までご連絡ください。

添付資料

- ・ 調査対象項目一覧
- ・ データ入力用フォーマット見本
- ・ 返信用紙

【調査項目一覧】

- ・ 出生時 : 生年月日・在胎期間・出生時体重・身長・頭囲、性別
- ・ 3 か月健診 : 健診日・体重・身長・頭囲、栄養
- ・ 6～10 か月健診 : 健診日・体重・身長・頭囲、栄養
- ・ 1歳6 か月健診 : 健診日・体重・身長
- ・ 3歳児健診 : 健診日・体重・身長

返信用紙

FAX : 019-651-

平成 26 年 5 月 16 日まで

市町村名 _____

担当課名 _____

ご担当者名 _____

連絡先 電話番号 : _____

連絡先 メールアドレス : _____

※上記は昨年度のデータで記載させていただいております。
誤っている場合や変更されている場合はお手数ですがご訂正ください。

東日本大震災被災地の子どもの発育状況に関する調査

協力できます

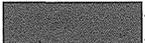
協力できません

(どちらかに○をお付けください)

ご協力いただける場合、データの収集方法について下記のうちご都合の良いものに○印をお願いいたします。調査日等については、追ってご相談させていただければと存じます。

- ・岩手医大担当者がご訪問しデータ入力
- ・ご担当者が規定のフォーマットに入力しデータを岩手医大に送付
この場合、必要な物品（紙やインク等の消耗品）がありましたらお送りいたします
- ・その他（ _____ ）

☆ご連絡事項がありましたらお書きください。

不明点は  (担当 : ) までご連絡ください。

平成 26 年 4 月 18 日

_____ 母子保健担当者殿

岩手医科大学小児科学講座
教授 千田 勝一

「東日本大震災被災地の子どもの発育状況に関する調査研究」へのご協力依頼

春暖の候、皆様方におかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

大きな悲しみと被害をもたらした東日本大震災が 3 年余が経過しましたが、被災された皆様にはまだまだ大変な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

そのような状況の中、たいへん恐縮ですが、標題の調査へのご協力をお願いいたしたく、ご連絡を取らせていただきました。

この調査は厚生労働省の指定科学研究として、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北 3 県の小児医療中核施設である岩手医科大学小児科と東北大学小児科、福島県立医科大学小児科が一致協力し、それぞれの県の乳幼児健康診査のデータについて被災地と非被災地のデータを比較することにより、被災による影響を明らかにするとともに、今後の災害時の小児保健の在り方について提言することを目的としたものです。調査計画は平成 24 年度～26 年度の 3 年計画で、本年度はその 3 年目、最終年度に当たります。昨年度の調査では各自治体にご協力いただき、対象の 8 割以上のデータを収集、調査研究することができました。貴自治体は昨年度はご協力いただけませんでした。本年度はご協力いただけると幸いです。

ご協力頂いた自治体には、研究終了後に報告書をお送りさせていただきます。調査にご協力されない場合でも不利益になるようなことはございませんが、今後の小児保健の向上のため、なにとぞご協力いただけますようお願いいたします。

調査は岩手医科大学小児科の担当者が各自治体を訪問し、乳幼児健康診査票のデータを転記します。(ご希望により、ご担当者さまにて規定のエクセルヘデータをご入力いただくこともできます。)本年度の対象は現在 3 歳児健診を終えている平成 22 年 6 月～平成 23 年 8 月出生児の乳幼児健康診査票です。自治体担当者の方々にはご負担をおかけしないようにいたします。

個人情報収集いたしません。また、対象者へのさらなる調査等は実施しません。なお、「倫理指針」において、本調査は既存資料のみを用いる観察研究のため、同意を得ることを必ずしも必要としませんが、各担当大学の倫理委員会の承認を得ております。

本調査に関する資料を添付いたします。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査へのご協力のお返事は、同封の返信用紙に記載の上、Fax で平成 26 年 5 月 16 日までにお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、XXXXXXXXXX (担当: XXXXXXXXXX) 迄ご連絡ください。

添付資料

- ・ 調査対象項目一覧
- ・ データ入力用フォーマット見本
- ・ 返信用紙

【調査項目一覧】

- ・ 出生時 : 生年月日・在胎期間・出生時体重・身長・頭囲、性別
- ・ 3か月健診 : 健診日・体重・身長・頭囲、栄養
- ・ 6～10か月健診 : 健診日・体重・身長・頭囲、栄養
- ・ 1歳6か月健診 : 健診日・体重・身長
- ・ 3歳児健診 : 健診日・体重・身長

平成26年8月1日

市町村母子保健担当者 様

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）
東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班
研究代表者 東北大学医学部小児科教授 呉 繁夫
福島県担当研究責任者 福島県立医科大学小児科教授 細矢 光亮

「平成26年度 被災地の子どもの発育状況等に関する調査」へのご協力のお願い

暑さ厳しき折、皆様方におかれましては、ますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。

一昨年度・昨年度と、お忙しいところ「厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）東日本大震災被災地の小児保健に関する調査研究班」の調査にご協力いただきありがとうございました。

おかげさまで貴重なデータを入手することができ、感謝申し上げます。

さて、本調査も平成26年度をもちまして最終調査となります。

一昨年度・昨年度とご協力いただいた貴施設に、是非とも最終調査もご協力をお願いしたいと考えております。

「研究計画書」と「返信FAX」を添付します。

ご多忙のところ大変申し訳ございませんが、今年度もご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

なお、平成25年度は“平成22年6月1日～平成23年4月31日生まれの子ども”を調査対象とし、データの収集を予定しております。

調査項目はこれまでと変更はありませんが、調査時期と健診の実施の有無の関係で、3歳6か月健診を受けていないところが多くなるかと思われませんが、その場合は1歳6か月健診までのデータを収集させていただきます。

参加の返答を受け次第、貴市町村長様宛の調査依頼書と個人情報取扱特記事項（こちらは業者へ転記を依頼するところのみ）を送付いたします。

お忙しい所、急な依頼で大変申し訳ございませんが、調査への協力の可否・希望調査方法等について、8月15日(金)までにお返事をお願いします。

【研究課題名】

被災地の子どもの発育状況等に関する調査

【平成26年度の調査対象】

「平成22年6月1日～平成23年4月31日生まれの子ども」の乳幼児健診等の情報
※個人を特定するような情報は集めません。

【調査方法】

- ① 福島県立医科大学から業務委託された者が市町村保健センターへ赴き、健診表から調査項目を転記する。
- ② 市町村で、調査項目を調査表に転記又はデータ入力し、研究班に送付する。

【調査項目】

<出生時>

出生日、出生時体重、出生時身長、出生時頭囲、性、在胎週数（例 37週4日）

<乳幼児期健診①：3・4か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）

<乳幼児期健診②：6・7か月もしくは9・10か月>

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）

<1歳6か月児健診>

健診日、体重、身長

<3歳児もしくは3歳6か月児健診> ※記載がある場合のみ

健診日、体重、身長

ご協力頂ける市町村には、追って調査に関する詳細をご連絡させていただきます。

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 小野敦史
〒960-1295 福島県福島市光が丘1
TEL：024-547-1295 FAX：024-548-6578
E.mail：a-ono@fmu.ac.jp

疫学研究に関する情報公開

【研究の意義・目的】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、その規模、死者・行方不明者の数など、あらゆる観点からみても、近代日本が経験したことがない激甚災害でした。約1年が経過した現在、震災が及ぼした小児保健医療への影響を振り返って考えみると、震災直後の医療体制、その後の診療の立て直し、震災孤児・遺児への対応、被災地の子どもたちの小児科診療のありかた、被災した子どもたちの短期的長期的なこころの問題、原子力発電所事故による放射線汚染の子どもたちへの影響、などの課題が浮き彫りになりました。今後の我が国の災害時小児保健医療を考えるためには、被災地における子どもたちの健康状態を、時間軸を付けて詳細に調査・分析する必要があります。本研究は、東日本大震災により甚大な被害を受けた東北3県の小児医療中核施設である東北大学小児科(宮城県)、岩手医科大学小児科(岩手県)、福島県立医科大学小児科(福島県)が一致協力し、被災地のこどもの発育・成長を当該市町村の乳幼児検査票などを基に調査・分析するものです。これらの調査を総合的に分析・解析し、被災地の小児保健の向上を図ると共に、今後の災害時の小児保健に生かしていく事を目的としています。

【研究の方法】

被災3県及び対照県の1) 乳幼児健診実施施設、2) 幼稚園・保育園、3) 小学校・中学校のうち協力可能な施設に調査を依頼します。

1) 乳幼児健診調査票のデータ、2) 保育園や幼稚園に保管されている身体測定データ、3) 小学校や中学校における定期健診のデータ、を用いて震災前後での比較を行います。

1) 乳幼児健診：

< 出生時 >

出生日、出生時体重、出生時身長、出生時頭囲、性、在胎週数（例 37週4日）

< 乳幼児期健診①：3・4か月 >

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）

< 乳幼児期健診②：6・7か月もしくは9・10か月 >

健診日、体重、身長、頭囲、栄養（母乳・混合・ミルク）

< 1歳6か月児健診 >

健診日、体重、身長

< 3歳児もしくは3歳6か月児健診 >

健診日、体重、身長

2) 保育園・幼稚園：

身長や体重など

3) 小学校・中学校：

身長や体重など

なお、今回ご協力いただく調査は、これまでと同様に上記1) に当たります。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者（主任研究者）	小児科学講座	教授	細矢光亮
研究分担者	同上	助手	小野敦史
	同上	准教授	川崎幸彦
	同上	講師	陶山和秀
	同上	助手	大原信一郎

他施設における研究者：

東北大学医学部小児科		教授	呉繁夫
東北大学医学系研究科分子疫学分野		教授	栗山進一
東北メディカルメガバンク機構		准教授	菊谷昌浩
東北メディカルメガバンク機構		助手	石黒真美
岩手医科大学		教授	千田勝一
山梨大学大学院医学工学総合研究部	社会医学	教授	山縣然太朗

【他の機関等への試料等の提供について】

県内のデータは匿名化して当科で収集します。

元の施設から個人情報を持ち出さず、収集したデータ（資料）は電子データ化した後に廃棄します。

電子化したデータはまとめて東北大学へ送付します。

電子データは連結不可能匿名化し、「東北大学小児病態学分野および分子疫学分野」に保存します。（管理責任者：東北大学小児科学講座 教授 呉繁夫）

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部小児科学講座 担当 小野敦史

電話:024-547-1295 FAX: 024-548-6578

E-mail:a-ono@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 研究推進課 研究支援担当

電話:024-547-1825 FAX: 024-547-1991

E-mail:rs@fmu.ac.jp

送付先：福島県立医科大学小児科 行

FAX番号：024-548-6578

電話番号：024-547-1295

送付枚数：1枚（本票含めて）

FAX

連絡事項：被災地の子どもの発育状況等に関する調査研究に関して、
以下の通り回答します。

協力の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否
市町村名	
■以下の項目は、協力可の場合のみご回答下さい。	
〒 担当部署名称、住所 及び電話番号： 電話： — —	
担当者お名前	
担当者メールアドレス	
調査対象の数 (おおよその概算で結構です)	① 前回とほぼ同じ ② 変更(約 人)
希望する調査方法	① 福島県立医科大学から業務委託された者が市町村保健センターへ赴き、調査項目を転記 ② 市町村で、データ入力されたものを研究班に送付
貴市町村長様宛の調査依頼書	今年は全地域へ送付させていただきます。
個人情報取扱特記事項(委託)	① を選択された場合に送付させていただきます。
その他、何かご質問等あればお書きください。	